



～渡良瀬遊水地～ 自然紹介



2025.10.9

ツル 蔓

植物。遊水地では秋になるとヨシやオギなどの背の高い植物に絡みつき、なぎ倒されてしまう場所も少なくありません。厄介者の面もありますが、様々な花や果実などが見られ、よく観察してみるとそれぞれの生存戦略の面白さが魅力です。秋は葉が落ち、色あせるので実がついているツル植物を見つけやすい時期でもあります。秋を感じに遊水地へお出かけください。

遊水地で見られるツル植物



ヤマノイモ

ツルについての「むかご」は球状の芽(肉芽)。これが地面に落ち、新しい芽がでます。食用が可能で炊込みご飯にするとおいしい！栄養満点です！



カナメグサ

ヤブガラシの花色は3度変化する！
開花直後のオレンジ色→ピンク
更にもう一度オレンジ→最後に再びピンクに！！花色の変化は、カロテノイドの含量の増減によっていることが判明。



ヤブガラシ

アサ科。
ホップの仲間。
茎や葉柄に細かなトゲがあり、素手で触れるとチクチクする。



カラスウリ

別名: 玉章
花は日が暮れてから開き、夜明け前にしぼむ。縦に隆起した帯がある種を結び文に例えたもの。

果実がカラスウリより小さいこととか、スズメの卵に見立てたことから名づけられた。かわいらしい真ん丸な果実は緑から熟すと白くなる。



スズメウリ



ゴキツルの果実は1～2cmの蓋果で、熟すと横に割れて、その様子が合器（基石を入れる器）のようなので「合器蔓」ゴキツルの和名が与えられたといわれる。

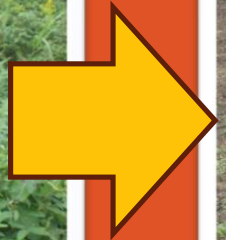


特定外来生物



TOPICS! 【ヨシ焼きの重要性】

秋になるとツル植物（写真はツルマメ）が繁茂し、ヨシやオギがなぎ倒され、日光が地面に届かなくなってしまいます。遊水地では毎年のヨシ焼きの際にツルも一緒に焼かれるため、日光が届き、春にはトネハナヤスリなどの貴重な植物が生育できる環境が整います。通直なヨシの育成や害虫駆除などのメリットもあり、『ヨシ焼き』は遊水地にとって重要な役割を果たしていると言えます。



ヨシ焼き後、日光が地面に十分にあたる